

**F SPORT PARTS (TRD)****MS344-48007/8/9  
サイドスカート****取付・取扱要領書**

この度はF SPORT PARTS (TRD) サイドスカートをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

**■ 品番・適合車種**

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS344-48007-A0	ホワイトノヴァガラスレク(083)	レクサス RX	AGL20W AGL25W GYL20W GYL25W	'19.8~	
MS344-48007-C0	ブラック (212)				
MS344-48007-C1	グレアイトブラックガラスレク (223)				
MS344-48008-NP	未塗装品 (プライマー処理品)				
MS344-48009	共通品 (212)				

※TRD エアロフェンダー (MS315-48003/4/5) を同時装着する場合は、先にエアロフェンダーを取付けてください。

・最新の適合情報はTRD カタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp>

## ■ 構成部品

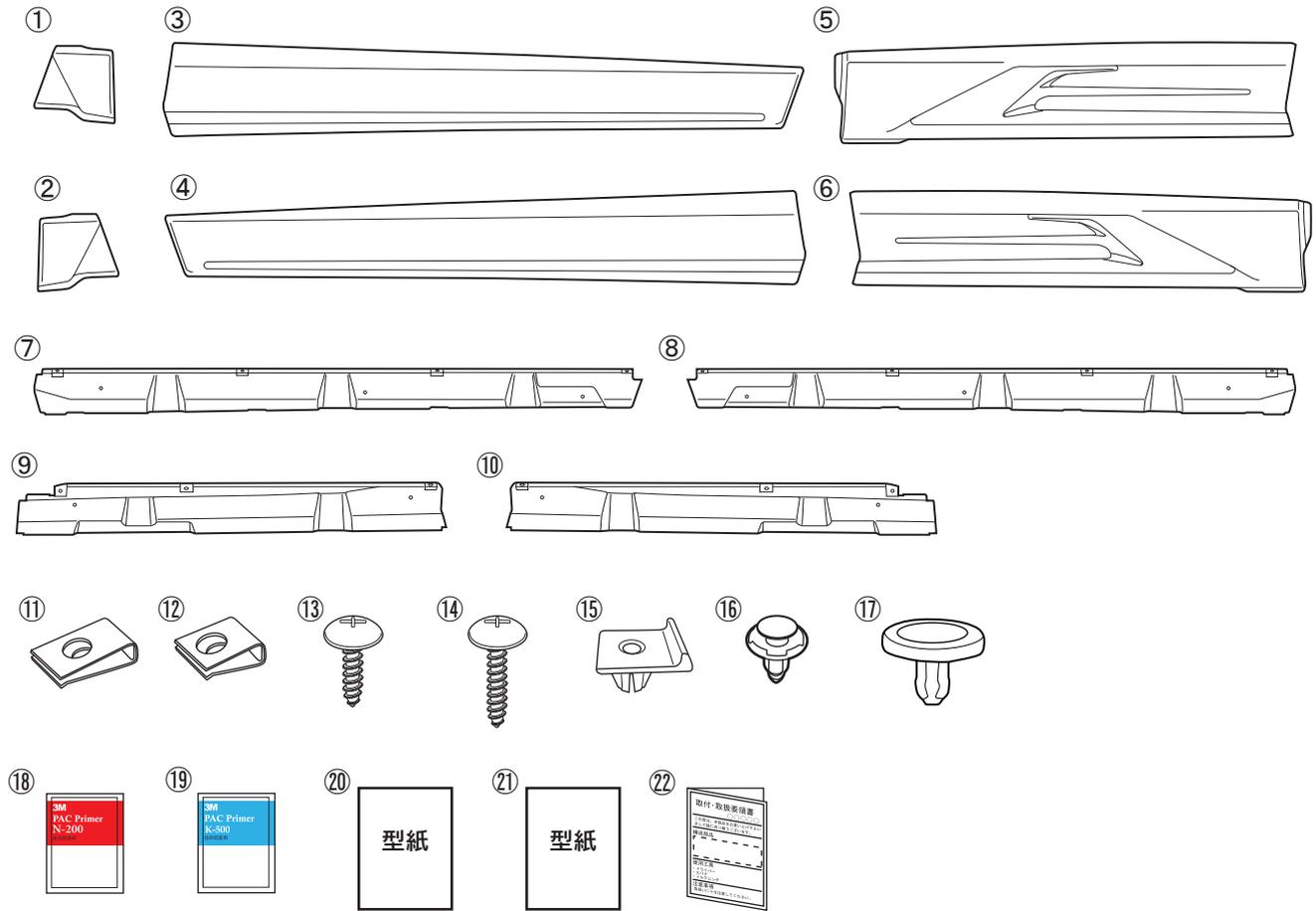
No.	部品名	品番	数量	備考
①	FR フェンダーピース RH		1	
②	FR フェンダーピース LH		1	
③	FR ドアピース RH		1	
④	FR ドアピース LH		1	
⑤	RR ドアピース RH		1	
⑥	RR ドアピース LH		1	
⑦	FR インナーピース RH		1	
⑧	FR インナーピース LH		1	
⑨	RR インナーピース RH		1	
⑩	RR インナーピース LH		1	
⑪	J ナット A		2	M5
⑫	J ナット B		14	M5
⑬	タッピングスクリュー A		16	M5×14
⑭	タッピングスクリュー B		4	M6×16
⑮	グロメット		4	M6
⑯	クリップ A		10	
⑰	クリップ B		2	
⑱	PAC プライマー (赤袋)		2	N-200
⑲	PAC プライマー (青袋)		2	K-500
⑳	型紙 A、B、C、D、E、F		1	
㉑	型紙 G、H		1	
㉒	取付・取扱要領書		1	本書

以下、MS344-48008-NP (未塗装品セット) のみに同梱

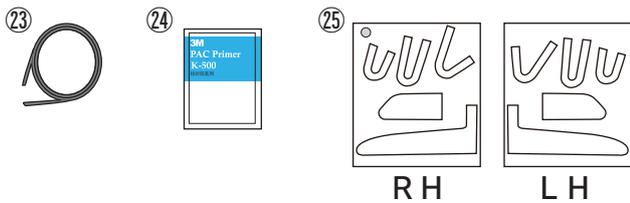
No.	部品名	品番	数量	備考
㉓	モール		2	L字:L=2100mm
㉔	PAC プライマー (青袋)		1	K-500
㉕	マスキングテープ (RH/LH)		各1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS344-48008-NP（未塗装品セット）のみに同梱



※RH/LH識別  
RH側のみ青シール有り

# 取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊖ やってはいけないこと

### Ⓢ 必ず行っていただくこと



## 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- Ⓢ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- Ⓢ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



## 注意

- Ⓢ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- Ⓢ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- Ⓢ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「㈱タクティール取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- Ⓢ 脱脂作業にポディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- Ⓢ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- Ⓢ 両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。
- Ⓢ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- Ⓢ 両面テープの圧着は49N（5Kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取付け24時間は、洗車や水（水拭き含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 取付けが終わったら

- Ⓢ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- Ⓢ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- Ⓢ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

## ■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1～3
2. 取付け上のご注意（取付け作業の方へ） . . . . . 4
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 5
4. 取付け要項 . . . . . 6～23
5. 取付け完了後の点検、注意事項 . . . . . 23

## ■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/5.0mm/6.0mm/11.0mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ ホワइटガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。

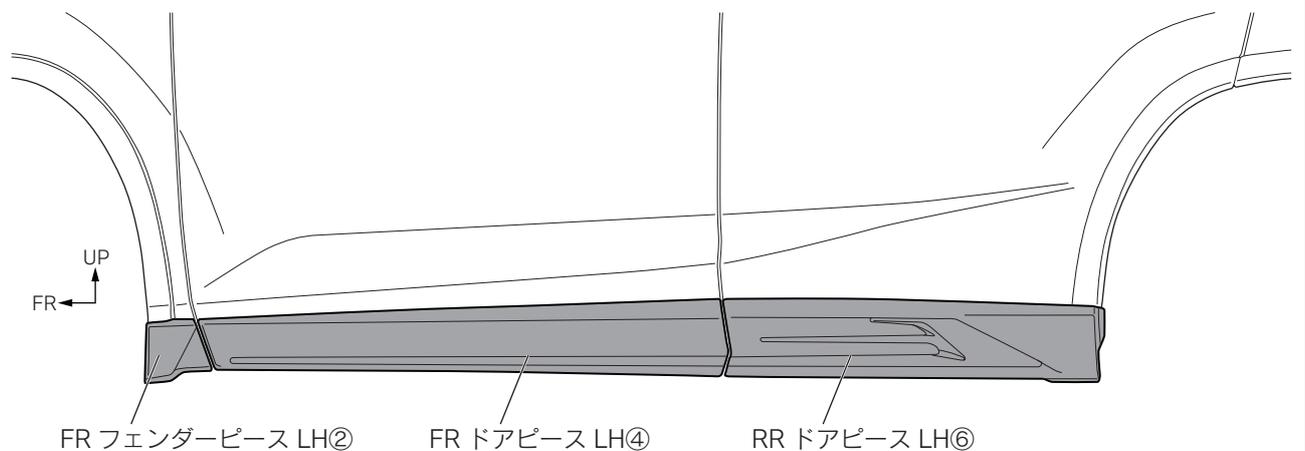
（3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp>>

「保証について」をご覧ください。

## ■ 取付構成図

※ LH 図示



**塗装済み品の取付けは、10 ページ【サイドスカート取付準備】に進み作業を行なってください。**

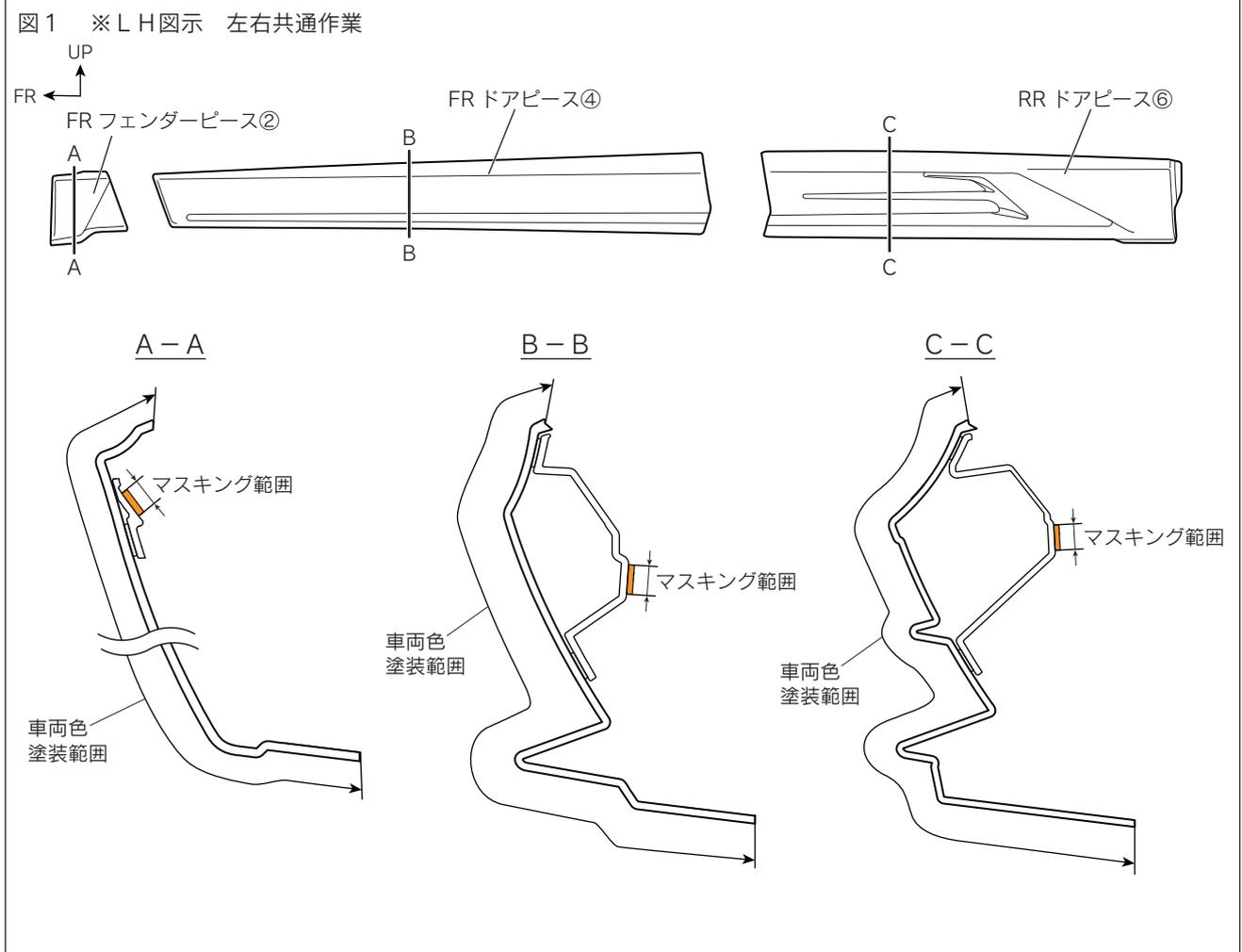
### ■未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品 (MS344-48008-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

### □サイドスカートの塗装

1. 図1のようにFRフェンダーピース①②、FRドアピース③④、RRドアピース⑤⑥を車両色で塗装する。



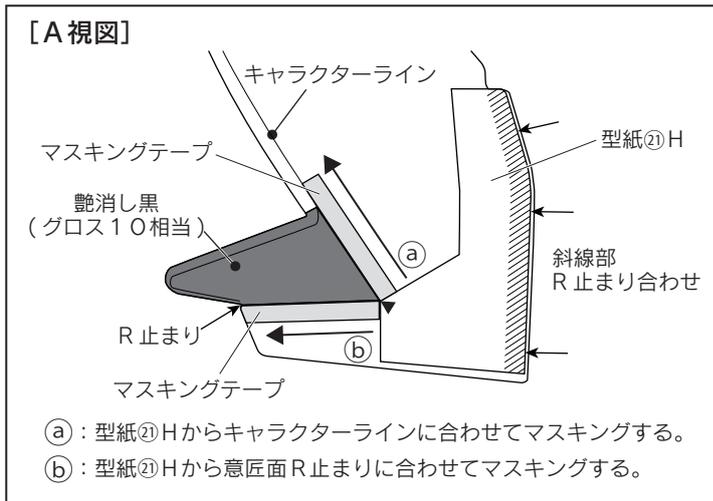
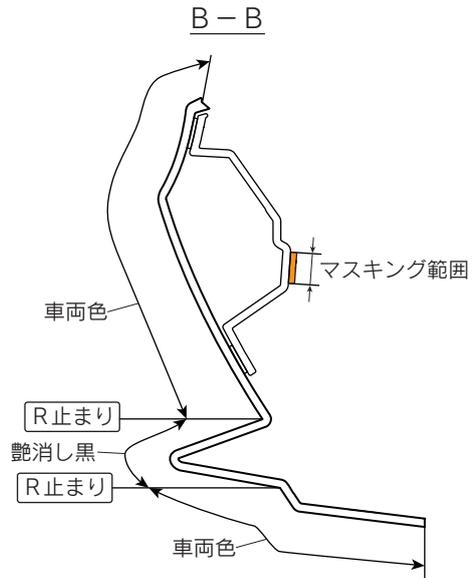
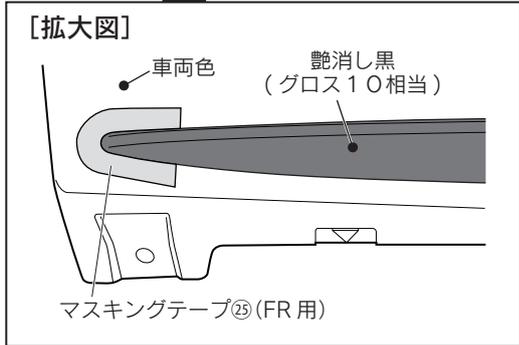
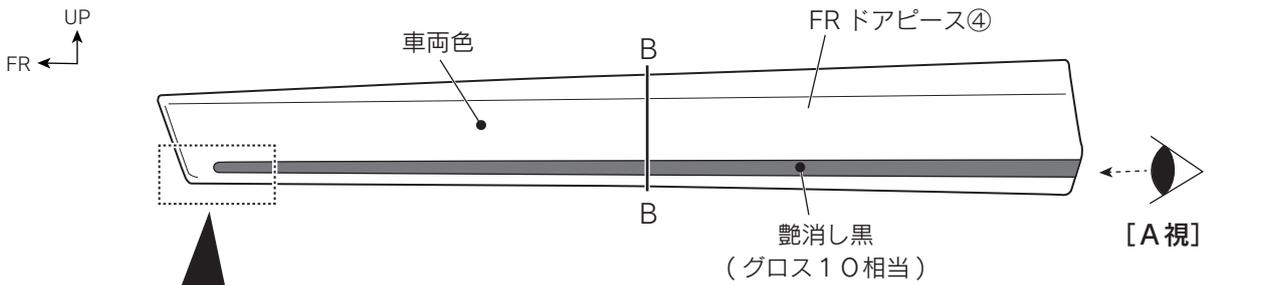
△注意:乾燥温度を 70℃以上上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告:両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意:脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール (以下IPAという) 又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

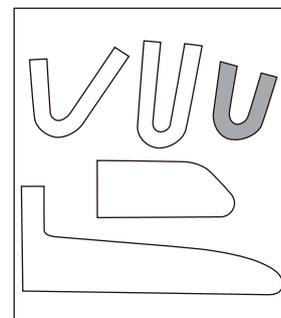
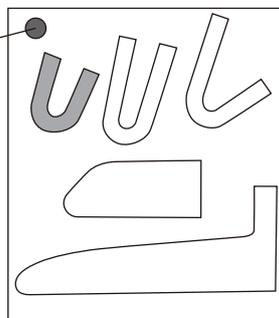
2. 図2のようにFRドアピース③④にマスキングテープ⑳、型紙㉑Hを使用してマスキングし、艶消し黒（グロス10相当）で塗装する。

図2 ※LH図示 左右共通作業



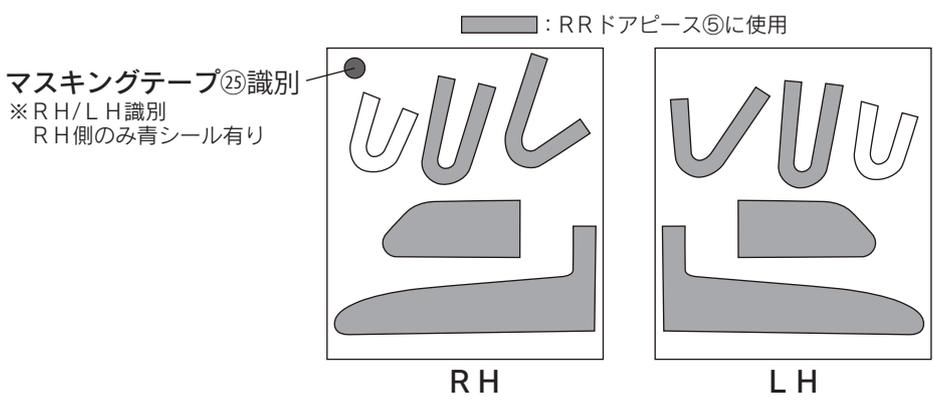
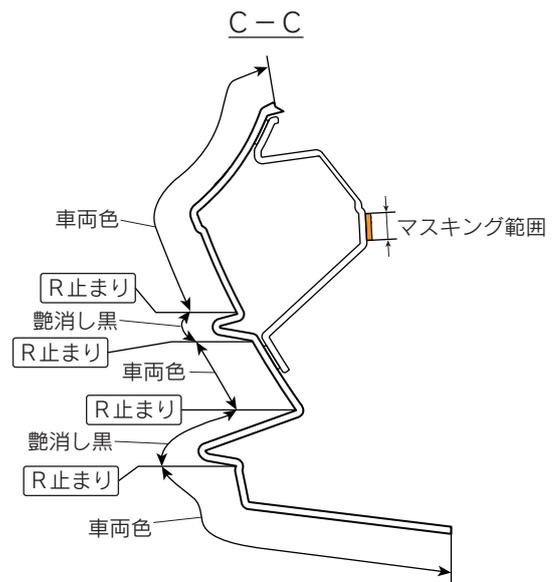
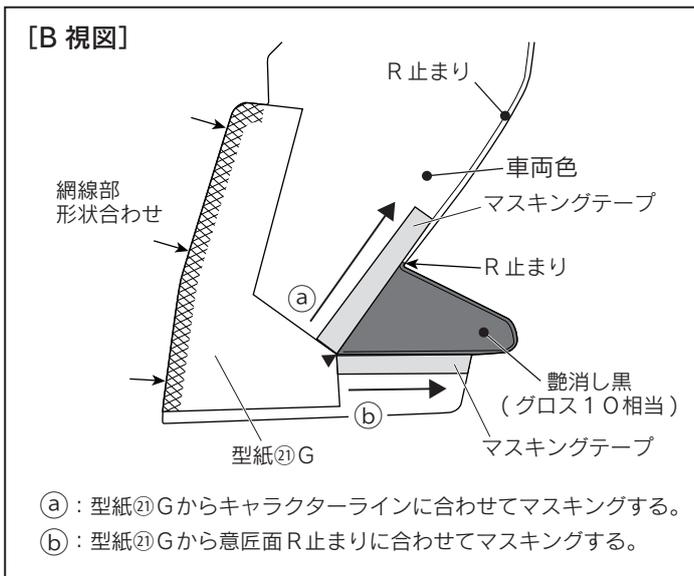
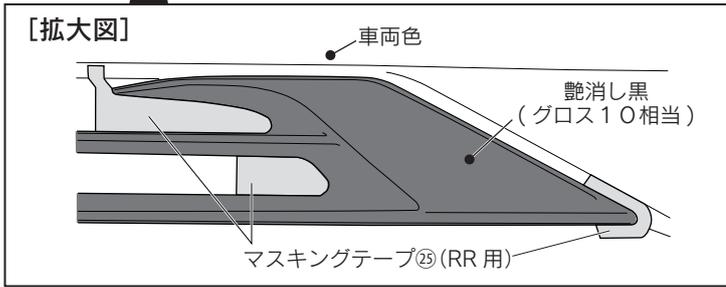
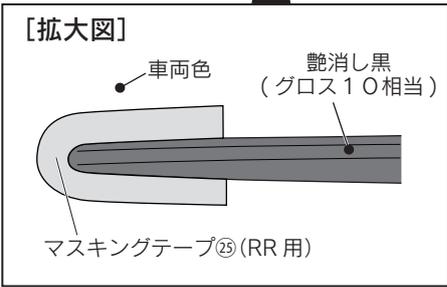
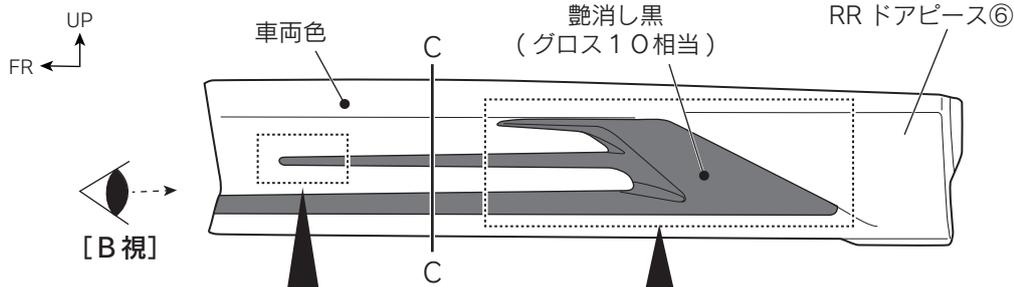
■ : FRドアピース④に使用

マスキングテープ⑳識別  
※RH/LH識別  
RH側のみ青シール有り



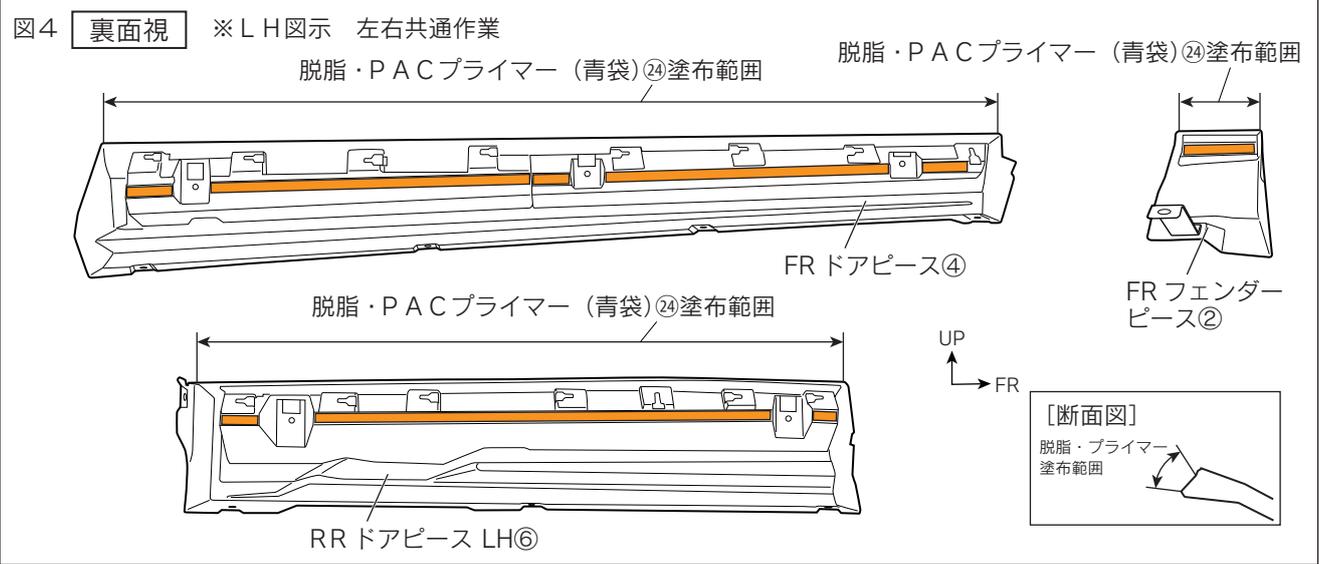
3. 図3のようにRRドアピース⑤⑥にマスキングテープ⑳、型紙㉑Gを使用してマスキングし、艶消し黒（グロス10相当）で塗装する。

図3 ※LH図示 左右共通作業



□モールの貼付け

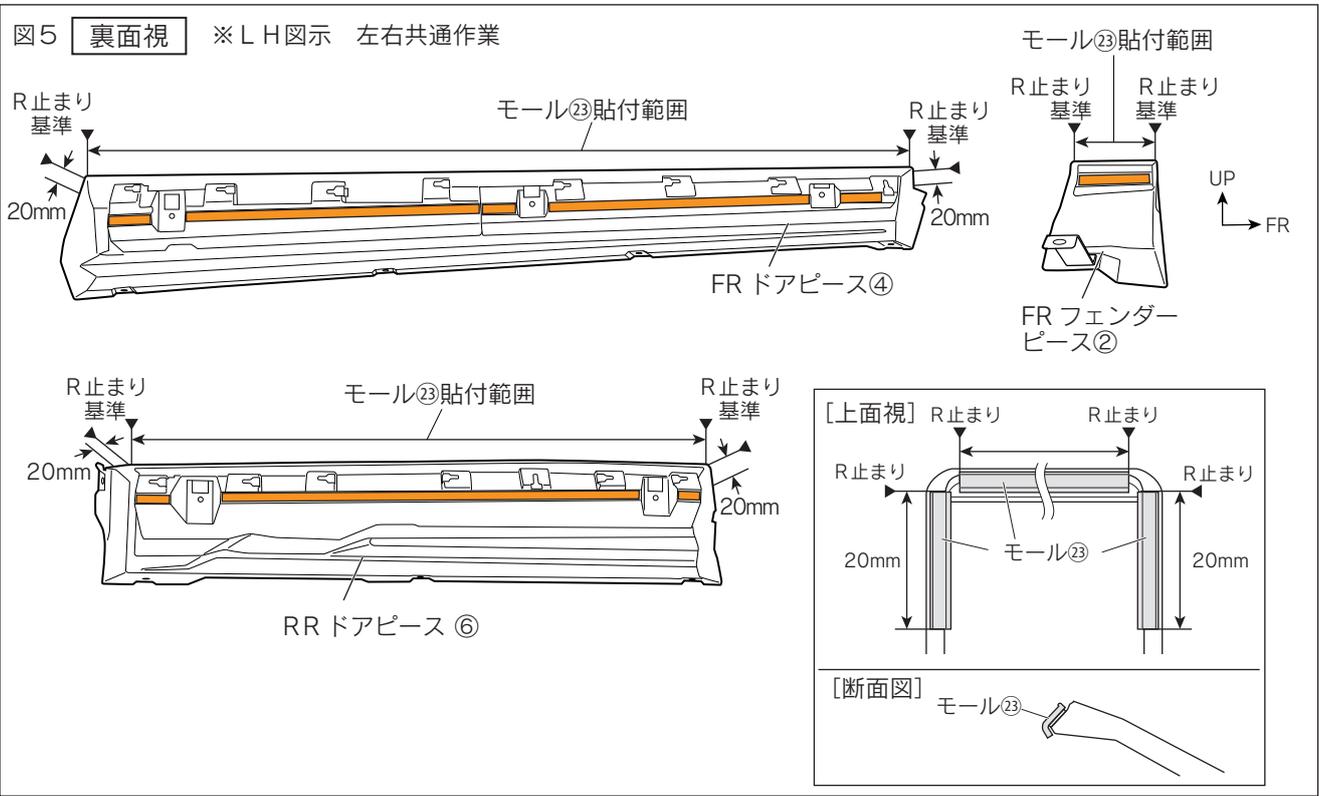
1. 図4のようにFR フェンダーピース①②、FR ドアピース③④、RR ドアピース⑤⑥のモール③貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみ PAC プライマー (青袋)④を塗布する。



△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

🗣️ アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

2. 図5のようにモール③の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。



△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

※TRD エアロフェンダー（MS315-48003/4/5）を同時装着する場合は、先にエアロフェンダーを取付けてください。

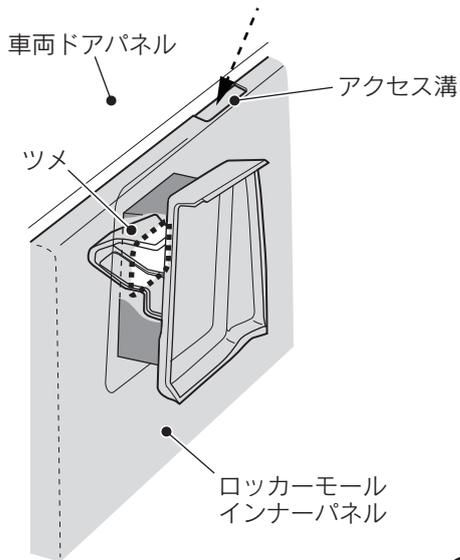
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□サイドスカート取付準備

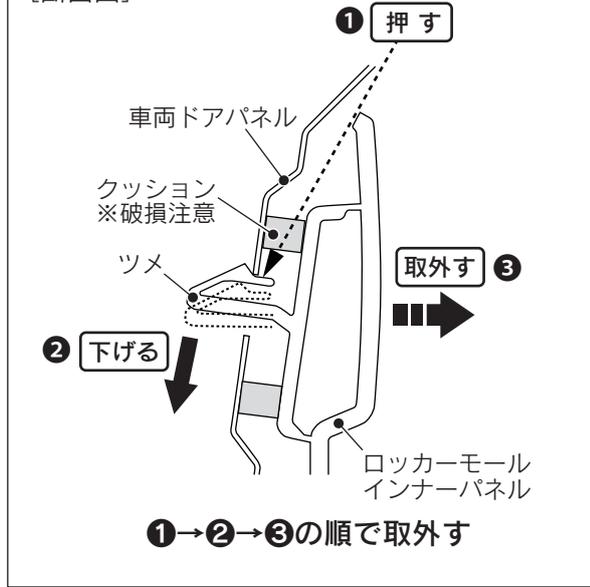
1. 図6のように該当車両の修理書に従い、車両からロッカーモール（FR/RR）を取外す。

図6 ※LH図示 左右共通作業

ロッカーモール内側（車内側）  
ツメ部透視図

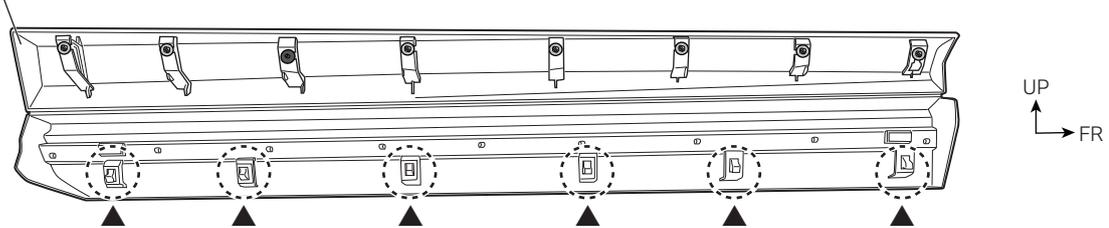


[断面図]

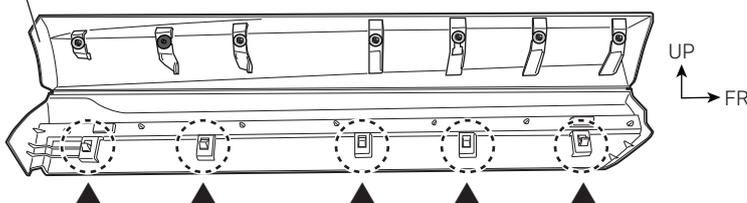


△注意：ツメが掛かったままインナーパネルを無理に外さないでください。ツメが破損し、取付け後のガタ付きや異音の原因となります。必ずアクセス溝から工具を入れ、全てのツメを押し下げて外し、インナーパネルを取外してください。

ロッカーモール（FR）



ロッカーモール（RR）

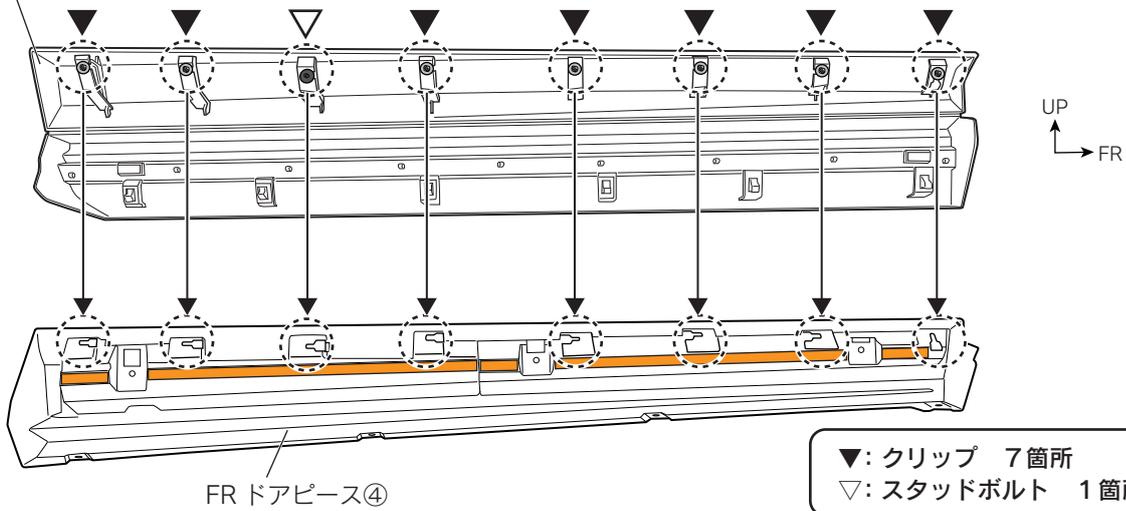


インナーパネル内側ツメ  
FR：6箇所  
RR：5箇所

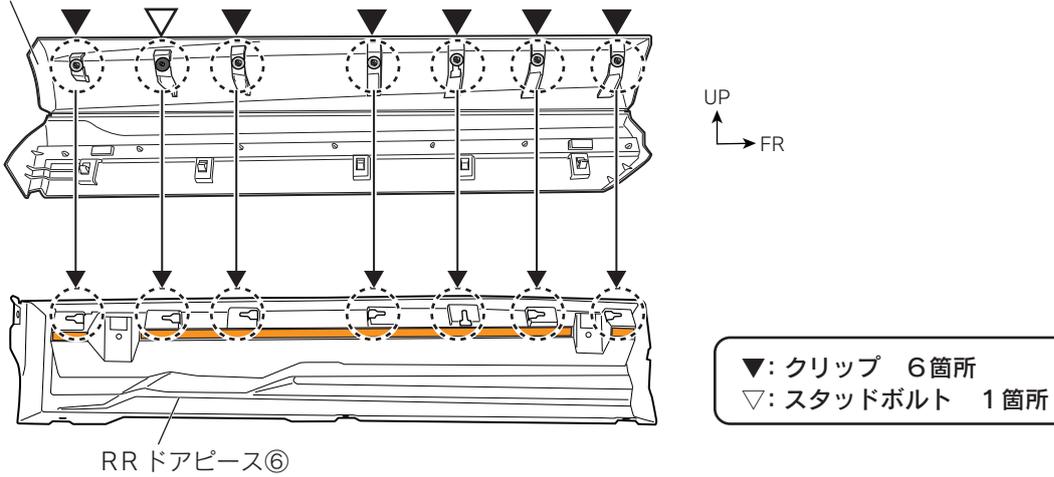
2. 図7のように取外したロッカーモール (FR/RR) からクリップ、スタッドボルトを取外し、FR ドアピース③④、RR ドアピース⑤⑥の同じ位置に移設する。

図7 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

ロッカーモール (FR)



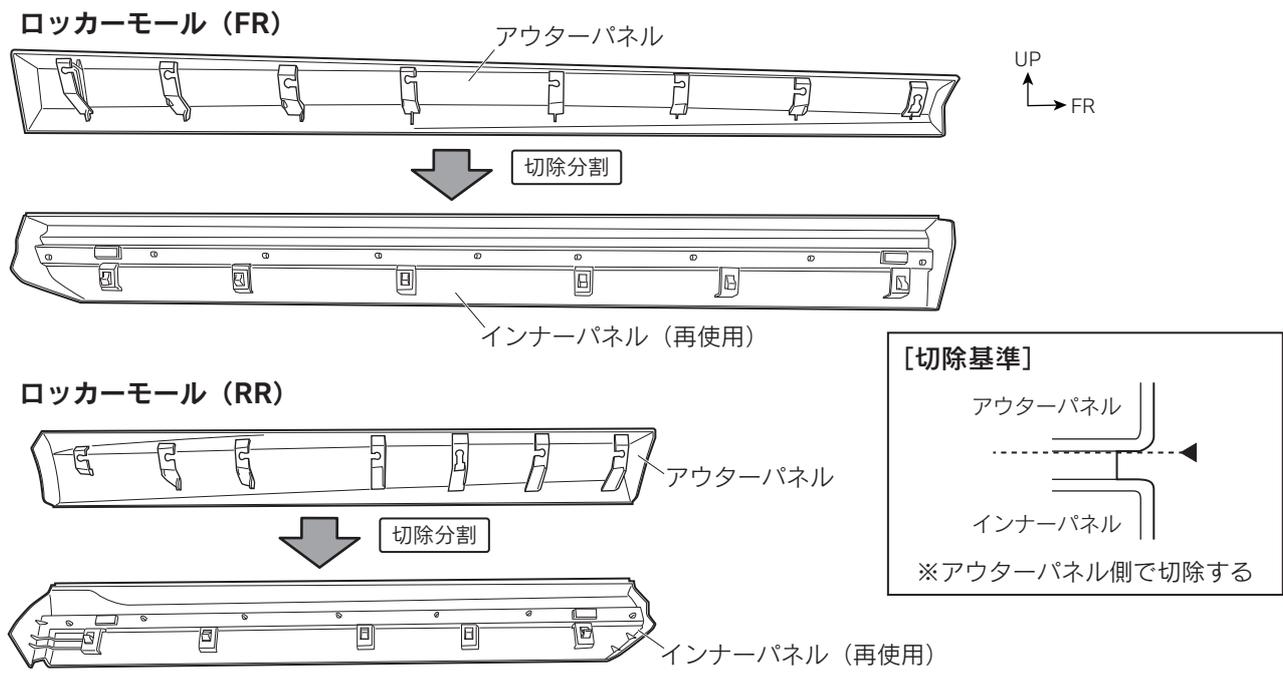
ロッカーモール (RR)



△注意: 取外した車両クリップ、車両スタッドボルトは、必ず同位置に移設してください。

3. 図8のようにロッカーモール (FR/RR) を折り曲げ部で切除し、分割する。

図8 ※LH図示 左右共通作業

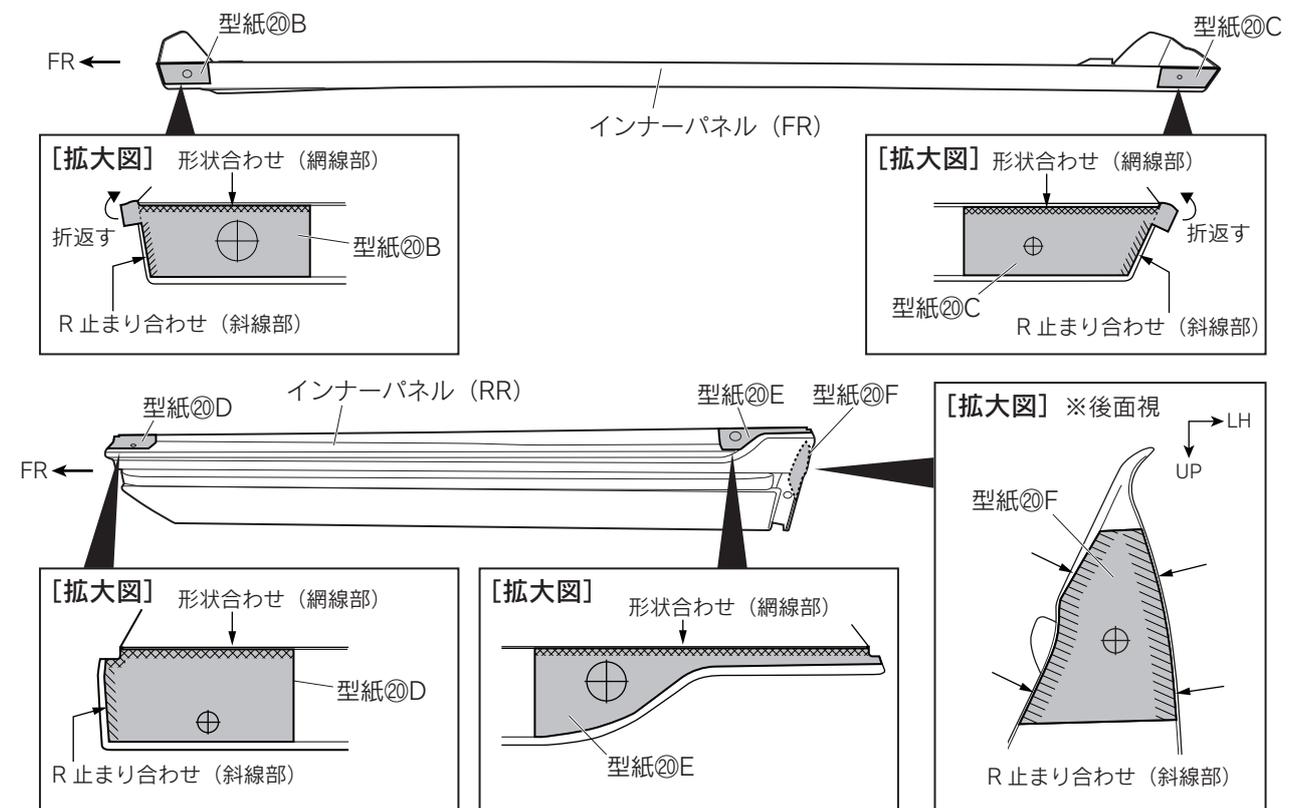


△注意：フロント及びリヤロッカーモールのインナーパネルは再使用しますので傷や破損に注意して作業を行ってください。

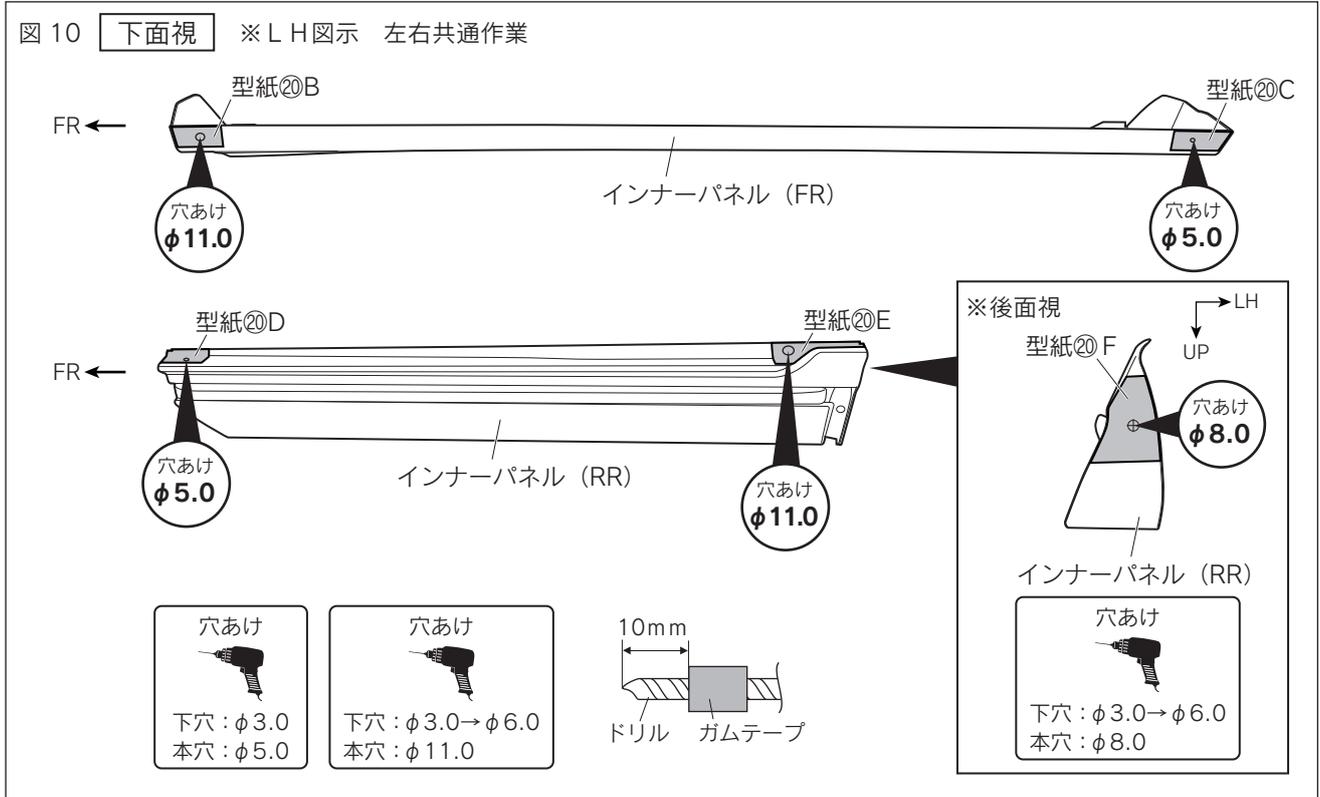
4. 切除部 (インナーパネル側) のバリを除去する。

5. 図9のようにインナーパネル (FR/RR) 下面に型紙⑳B、C、D、E、Fを貼付ける。

図9 下面視 ※LH図示 左右共通作業



6. 図 10 のようにインナーパネル (FR/RR) 下面の型紙②C、Dの穴位置に合わせて下穴をφ3.0であけ、φ5.0の本穴をあける。(左右各2箇所)
7. 図 10 のようにインナーパネル (RR) 後面の型紙②Fの穴位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ8.0の本穴をあける。(左右各1箇所)
8. 図 10 のようにインナーパネル (FR/RR) 下面の型紙②B、Eの穴位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ11.0の本穴をあける。(左右各2箇所)

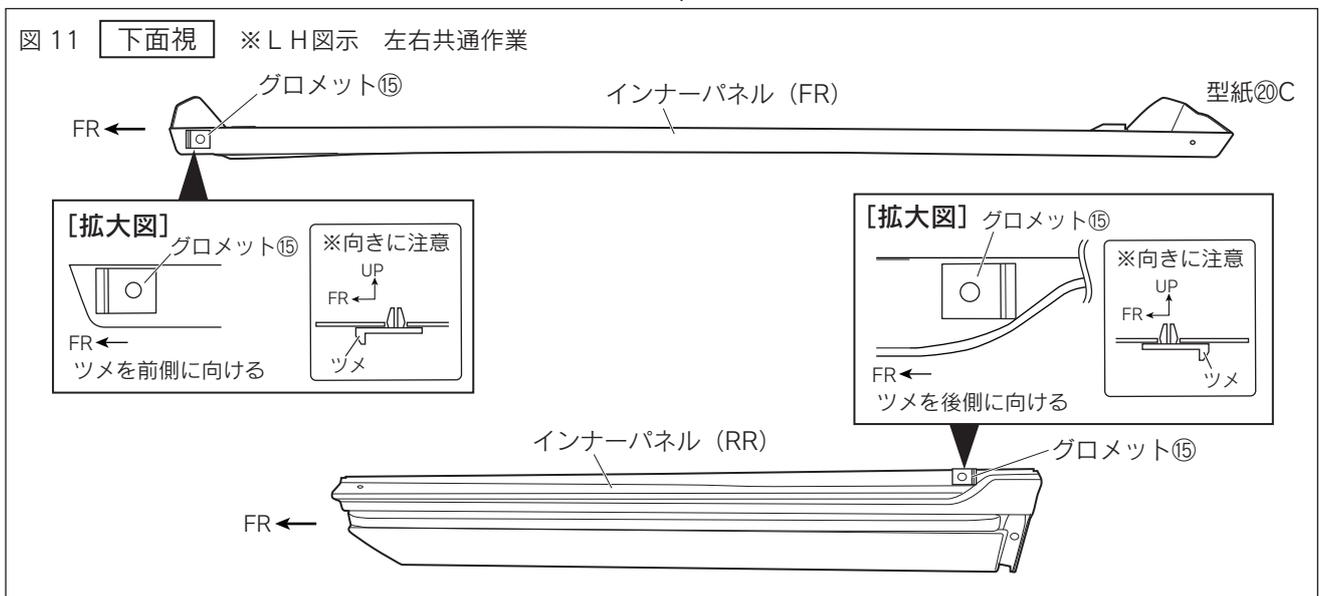


△注意 : 作業時は保護メガネを着用してください。

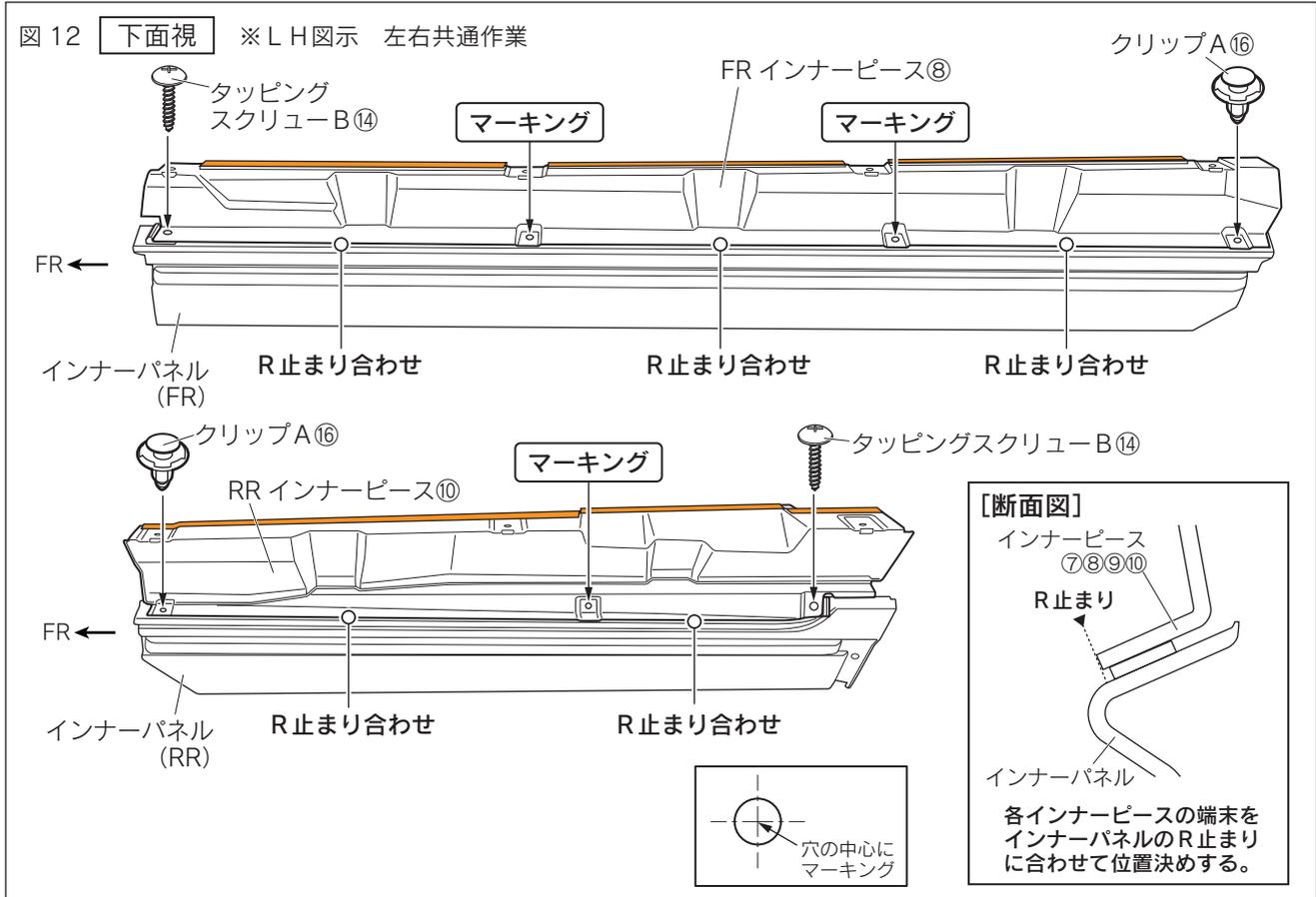
△注意 : 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

9. 型紙②B、C、D、E、Fを剥がし、穴周囲のバリを除去する。

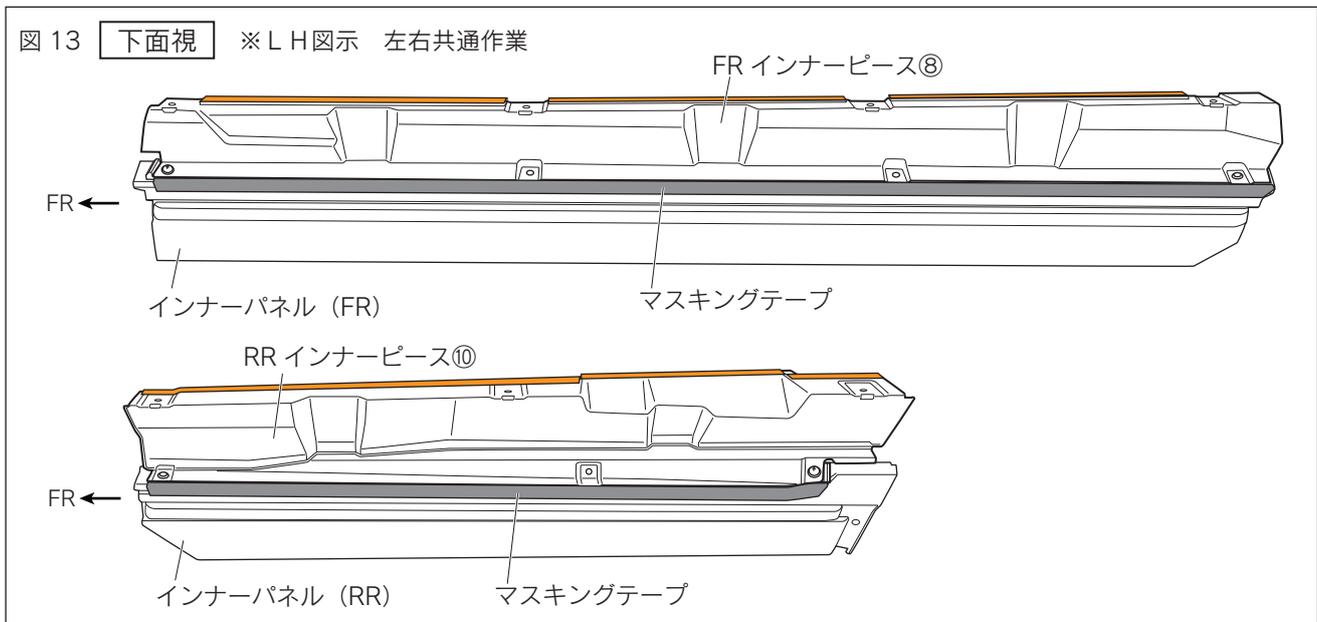
10. 図 11 のようにインナーパネル (FR/RR) 下面のφ11 穴にグロメット⑮を取付ける。(左右各2箇所)



11. 図 12 のようにインナーパネル (FR/RR) に FR インナーピース⑦⑧、RR インナーピース⑨⑩をあて、下面をクリップA⑯(左右各 1 箇所)、タッピングスクリューB⑭(左右各 1 箇所) で仮締めし、下面の穴に合わせてインナーパネルに穴あけ位置をマーキングする。



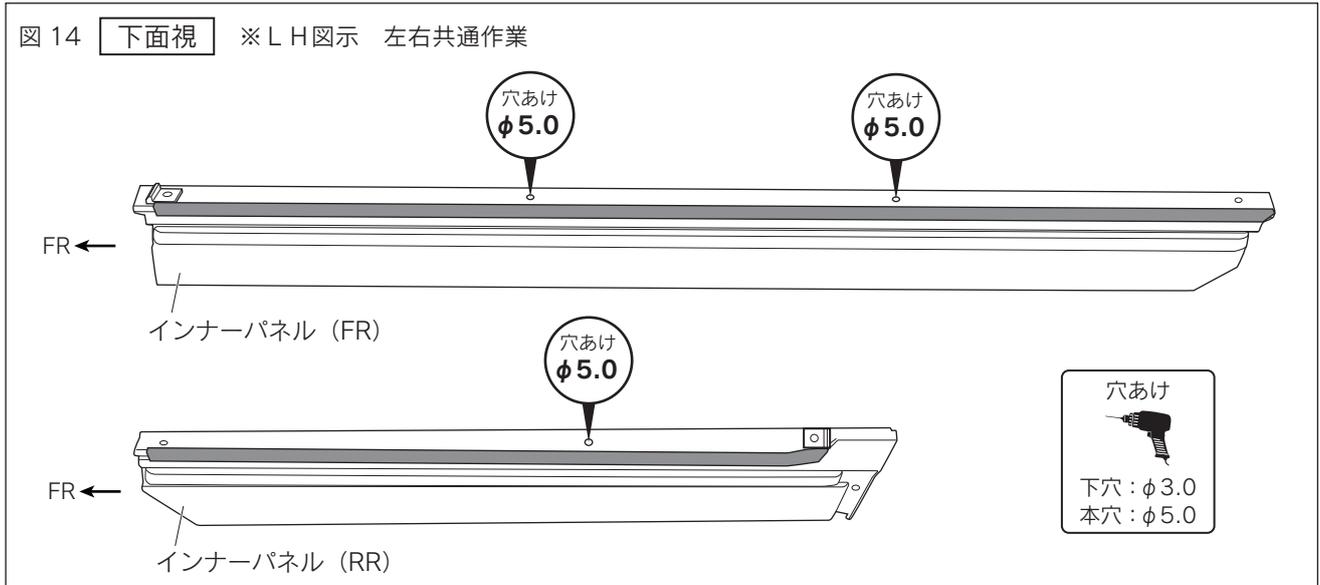
12. 図 13 のように FR インナーピース⑦⑧、RR インナーピース⑨⑩の端末に合わせてインナーパーツにマスキングテープを貼付ける。



△注意 : PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

13.FR インナーピース⑦⑧、RR インナーピース⑨⑩を取外す。

14. 図 14 のようにインナーパネル (FR/RR) の穴あけ位置マーキングに合わせてφ3.0の下穴をあけ、φ5.0の本穴をあける。(FR:左右各2箇所、RR:左右各1箇所)



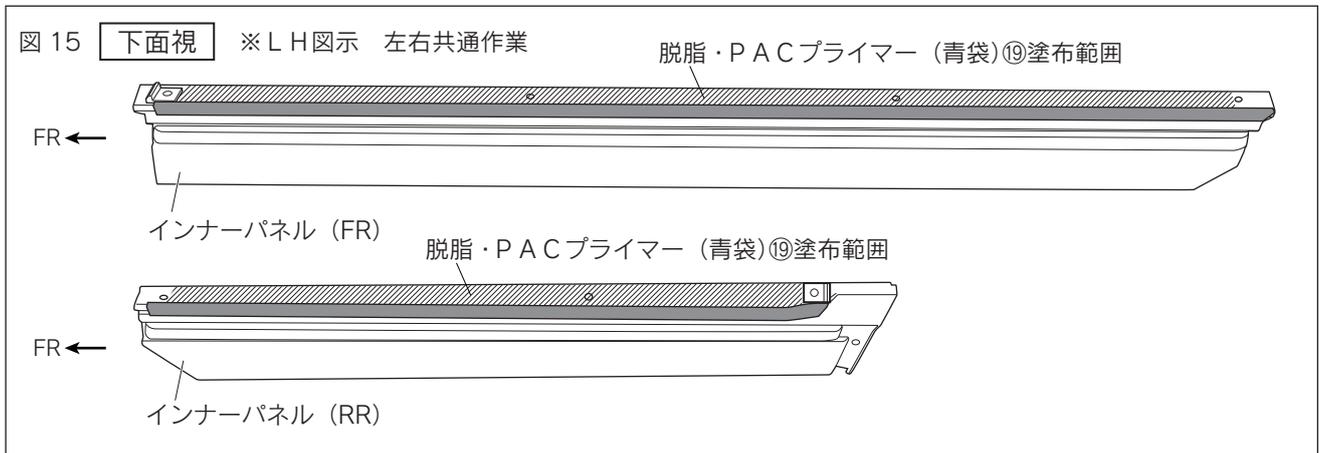
△注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

△注意: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

15. 穴周囲のバリを除去する。(FR:左右各2箇所、RR:左右各1箇所)

△注意: バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

16. 図 15 のようにインナーパネル (FR/RR) のFR インナーピース⑦⑧、RR インナーピース⑨⑩の両面テープ貼付け部 (下図斜線部) の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、PAC プライマー (青袋)⑩を塗布する。



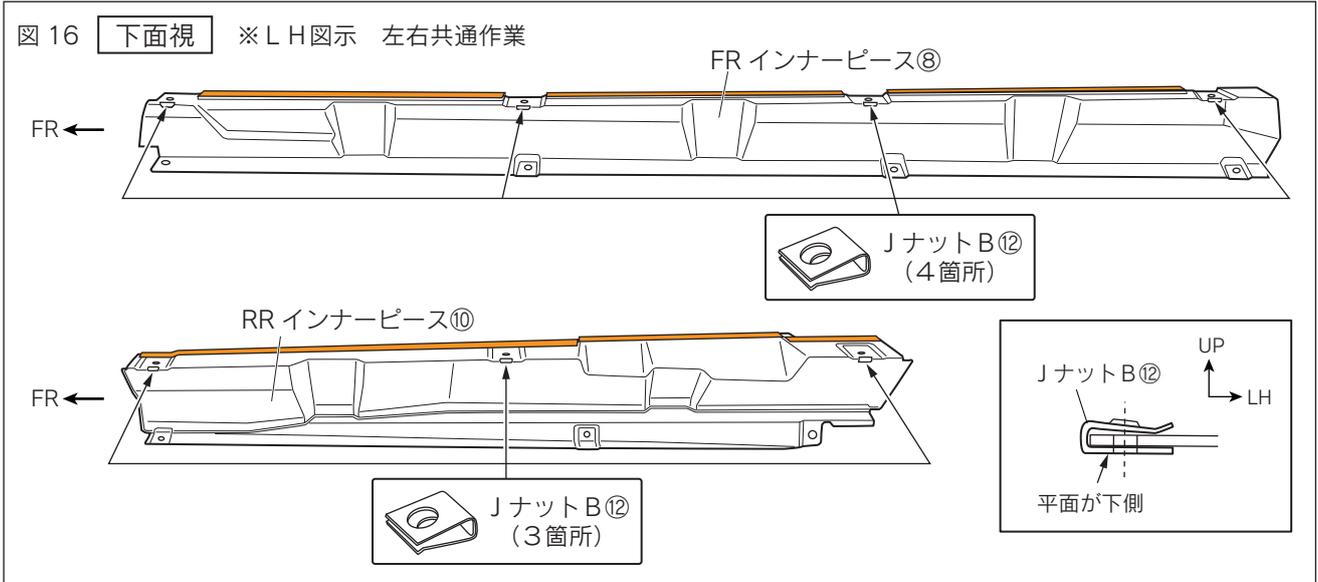
△注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。

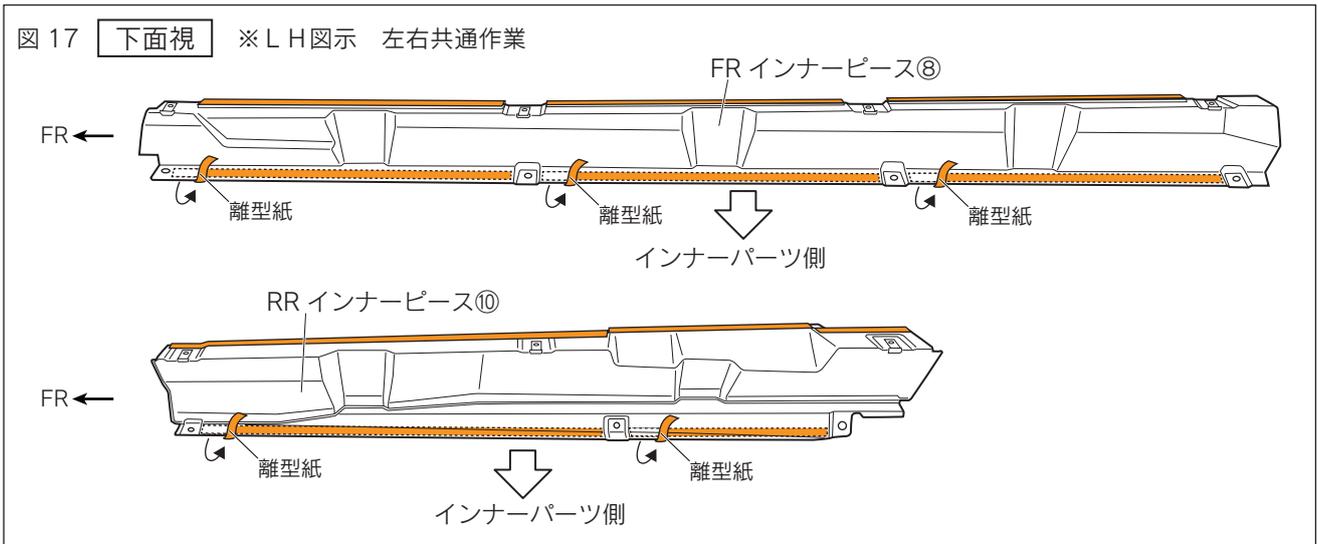
△注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

17. マスキングテープを剥がす。

18. 図 16 のように FR インナーピース⑦⑧、RR インナーピース⑨⑩に J ナット B ⑫ を取付ける。  
 (FR : 左右各 4 箇所、RR : 左右各 3 箇所)

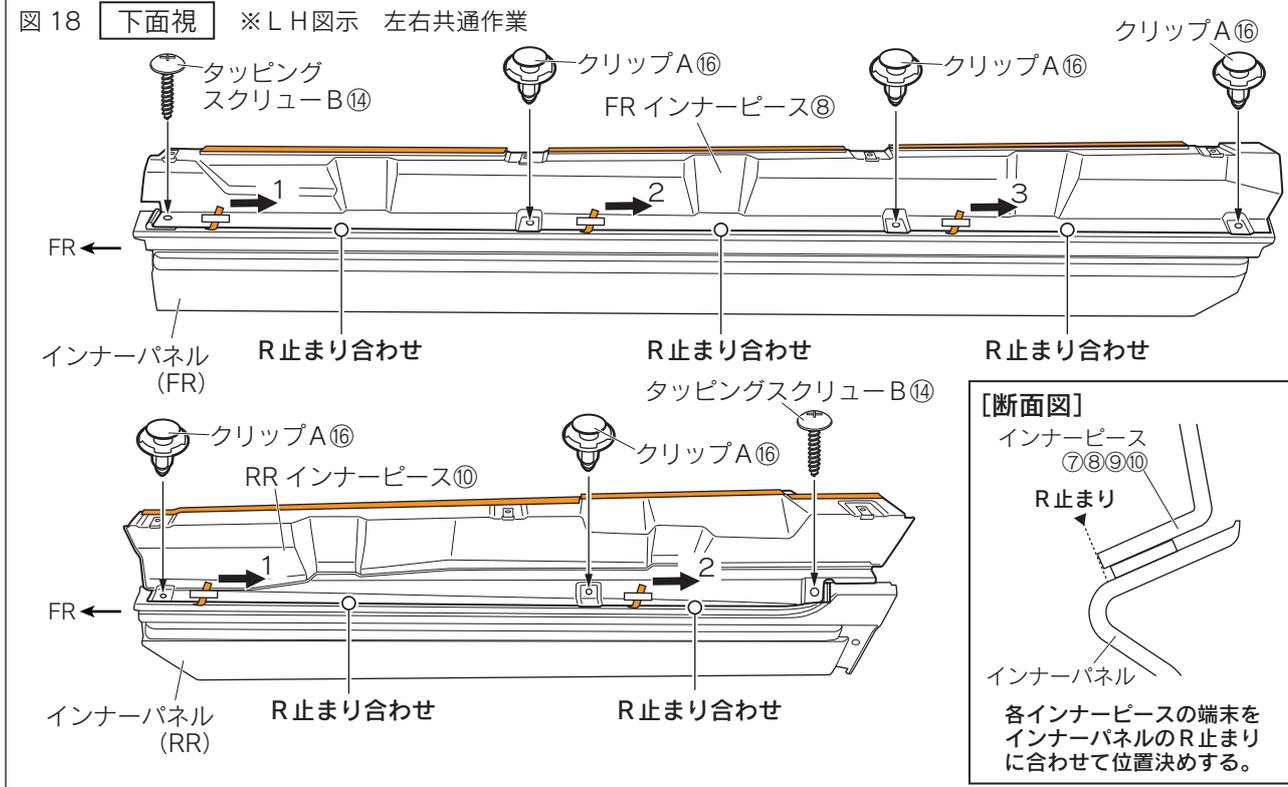


19. 図 17 のように FR インナーピース⑦⑧、RR インナーピース⑨⑩のインナーパーツ貼付け面側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。  
 (FR : 左右各 2 箇所、RR : 左右各 1 箇所)



△注意 : 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び貼付け部をドライヤー等で約 40℃ 程度に温めてください。

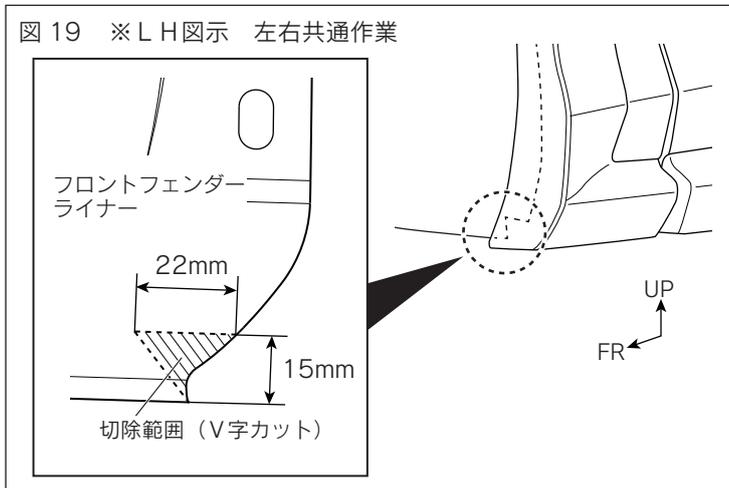
20. 図 18 のようにインナーパネル (FR/RR) に FR インナーピース⑦⑧、RR インナーピース⑨⑩をあて、下面をクリップA⑯ (FR: 左右各3箇所、RR: 左右各2箇所)、タッピングスクリューB⑭ (FR/RR: 左右各1箇所) で仮締めする。  
各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着し、タッピングスクリューB⑭を本締めする。



△注意: 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

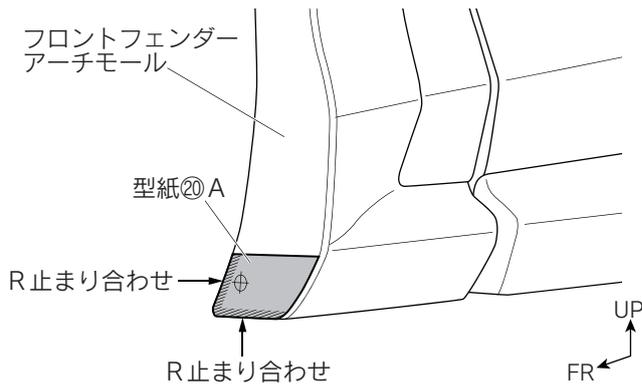
👉 アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。  
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧 (車両の移動を含む) が、掛からないようにオープンタイム (静止時間) をお取りください。

⚠️ 警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。  
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。



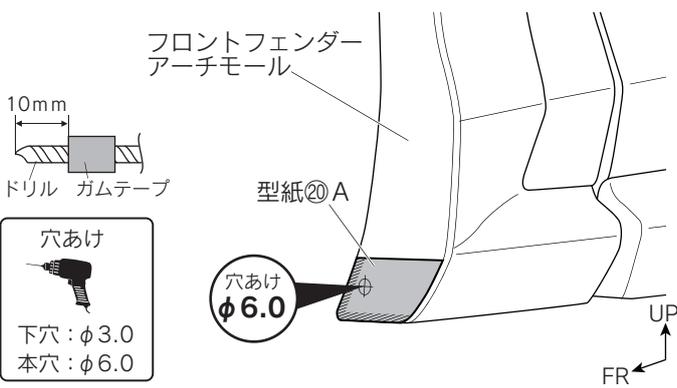
21. 図 19 のようにフロントフェンダーライナーを下方をめぐり出し、下端部を左図寸法で切除加工 (V字カット) し、加工後、元に戻す。(左右各1箇所)

図 20 ※LH図示 左右共通作業



22. 図 20 のようにフロントフェンダーアーチモール折返し部に型紙⑳Aを貼付ける。(左右各 1箇所)

図 21 ※LH図示 左右共通作業

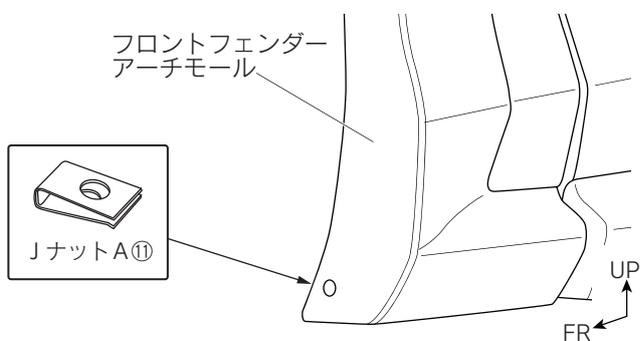


23. 図 21 のように型紙⑳Aの穴あけ位置に合わせ、下穴をφ3.0であけ、φ6.0の本穴をあける。(左右各 1箇所)

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

図 22 ※LH図示 左右共通作業



25. 図 22 のようにφ6.0穴に合わせてJナットA⑪を取付ける。(左右各 1箇所)

△注意：Jナットの向きに注意して取付けてください。

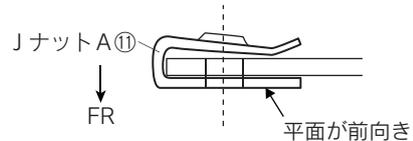
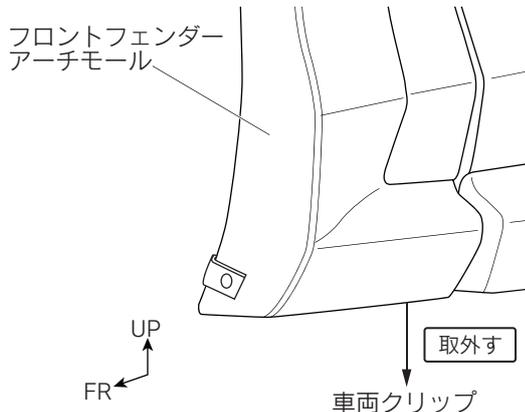


図 23 ※LH図示 左右共通作業



26. 図 23 のようにフロントフェンダーアーチモール下面の車両クリップを取外す。(左右各 1箇所)

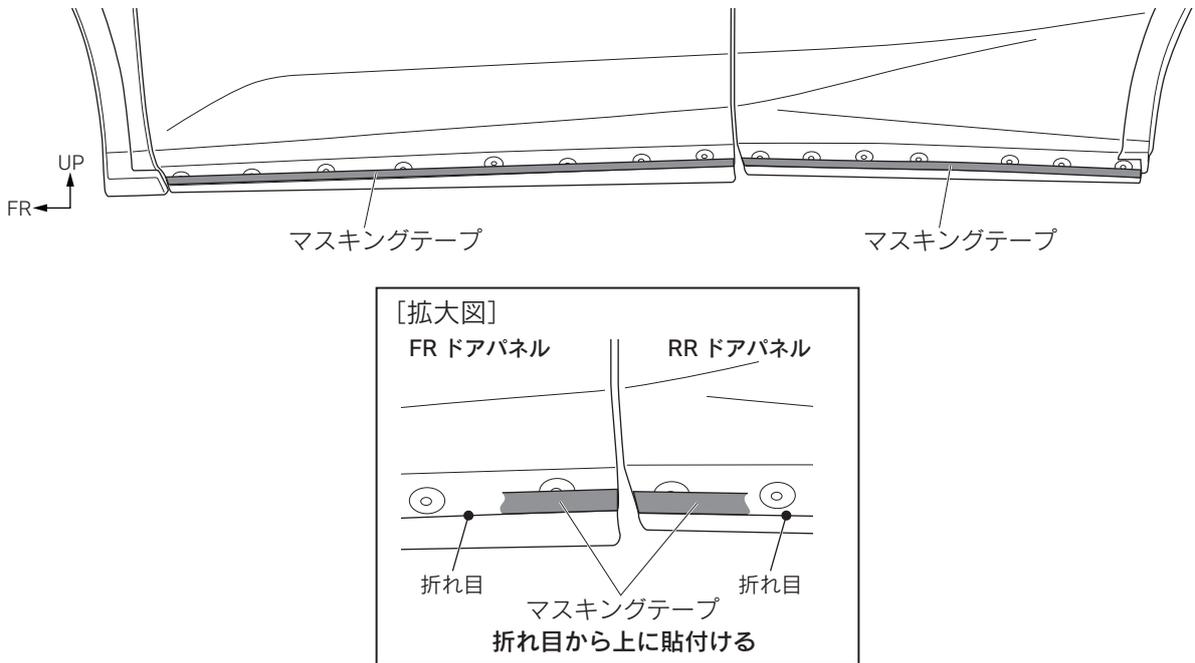
△注意：取外した車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

※本取付・取扱要領書は、主にL H側を示しており、R H側も同様に行ってください。

### □サイドスカート取付要領

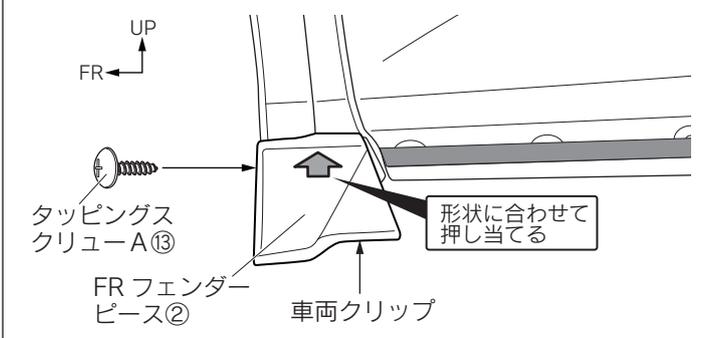
1. 図 24 のように車両 FR/RR ドアパネル下方の折れ目に合わせてマスキングテープを貼付ける。

図 24 ※L H図示 左右共通作業



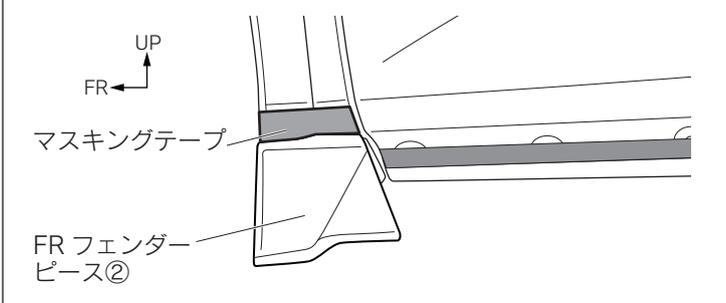
△注意：PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

図 25 ※L H図示 左右共通作業



2. 図 25 のように FR フェンダーピース①② を車両にあて、FR ドアピース③④に高さを合わせながら位置決めしてタッピングスクリューA⑬で仮締めし、下面ブラケット部を車両クリップで固定する。

図 26 ※L H図示 左右共通作業



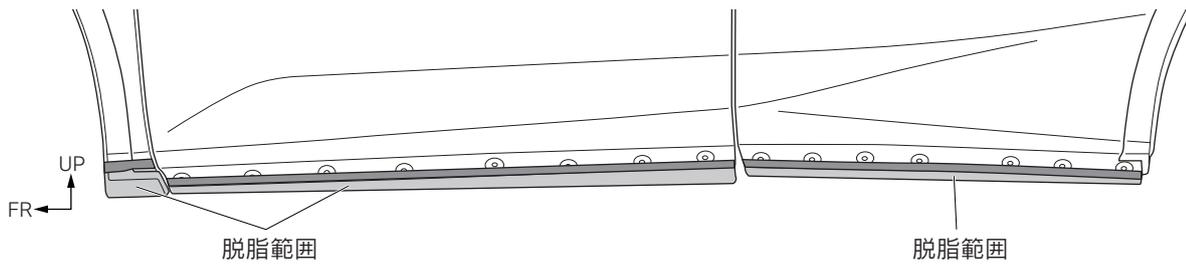
3. 図 26 のように FR フェンダーピース①② の端末に合わせてマスキングテープを貼付ける。

△注意：PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

4. FR フェンダーピース①②、FR ドアピース③④、RR ドアピース⑤⑥を取外す。

5. 図 27 のように FR フェンダーピース①②、FR ドアピース③④、RR ドアピース⑤⑥の両面テープ貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

図 27 ※ LH 図示 左右共通作業

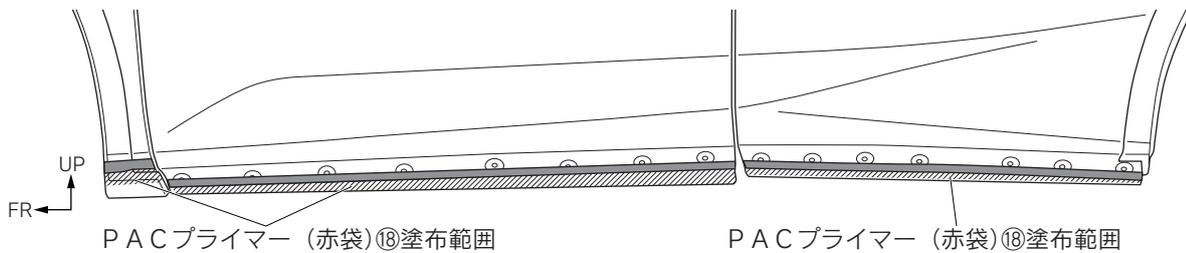


△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

6. 図 28 のように FR フェンダーピース①②、FR ドアピース③④、RR ドアピース⑤⑥の両面テープ貼付け部（下図斜線部）に PAC プライマー（赤袋）⑱を塗布する。

図 28 ※ LH 図示 左右共通作業



△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

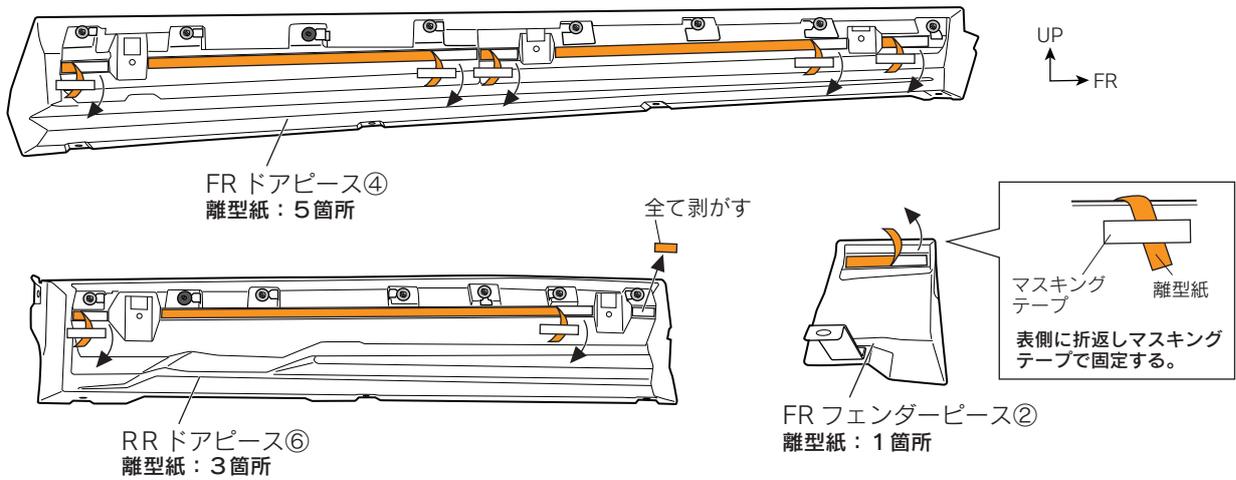
👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

7. マスキングテープを剥がす。

8. 図 29 のように FR フェンダーピース①②、FR ドアピース③④、RR ドアピース⑤⑥の両面テープの離型紙を矢印の方向に剥がしてマスキングテープ等で貼付ける。

図 29 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

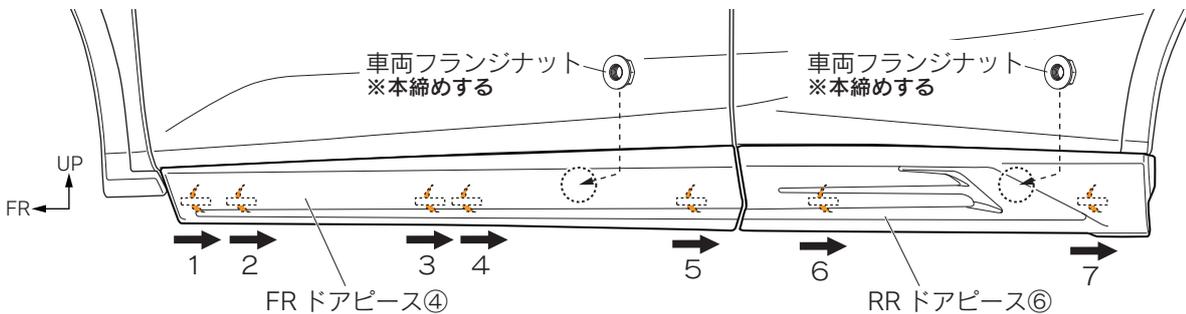


△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

9. 図 30 のように FR ドアピース③④、RR ドアピース⑤⑥を車両にあて、裏側のクリップを車両ドアパネル側面の穴に嵌め込む。

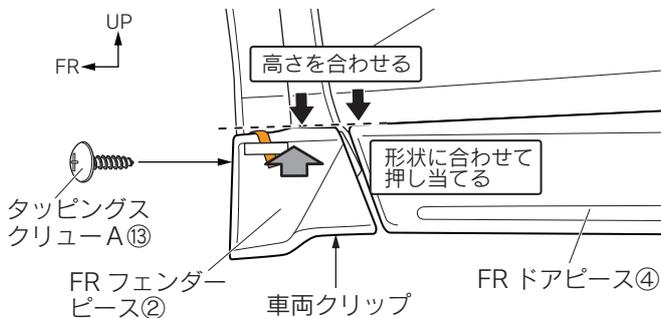
各部の位置、隙を確認してドアパネル内側から両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着し、ドアパネル内側から車両フランジボルト（左右各2箇所）を取付けて本締めする。

図 30 ※LH図示 左右共通作業



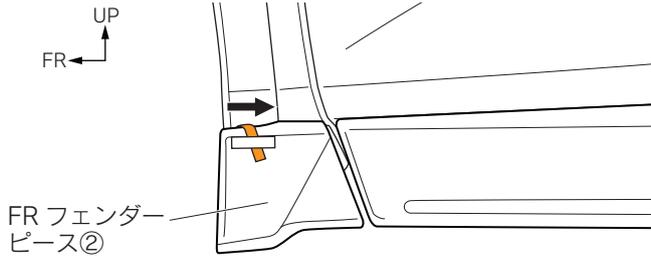
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

図 31 ※LH図示 左右共通作業



10. 図 31 のように FR フェンダーピース①②を車両にあて、FR ドアピース③④に高さを合わせながら位置決めしてタッピングスクリュー A⑬で仮締めし、下面ブラケット部を車両クリップで固定する。

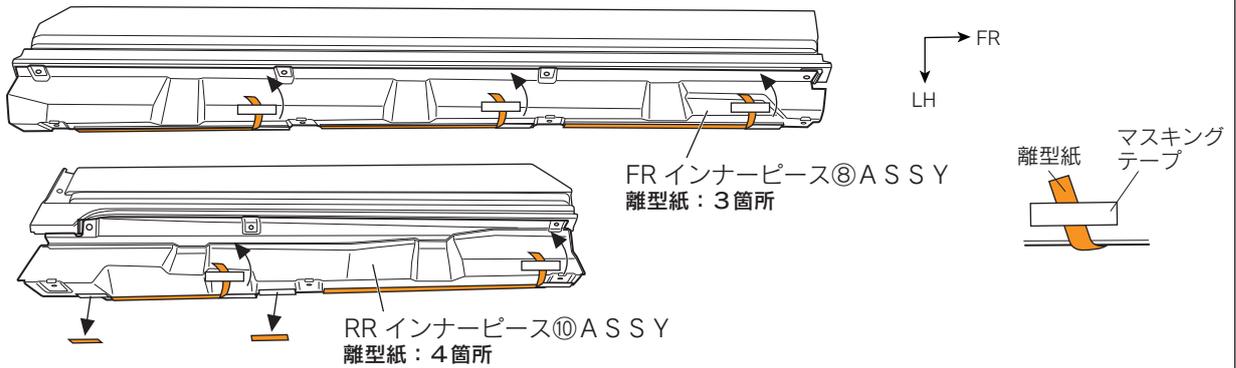
図 32 ※ LH 図示 左右共通作業



11. 図 32 のように各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼付け圧着し、タッピングスクリュー A⑬ を本締めする。

12. 図 33 のように FR インナーピース⑦⑧ A S S Y、RR インナーピース⑨⑩ A S S Y の両面テープの離型紙を矢印の方向に剥がしてマスキングテープ等で貼付ける。

図 33 ※ LH 図示 左右共通作業

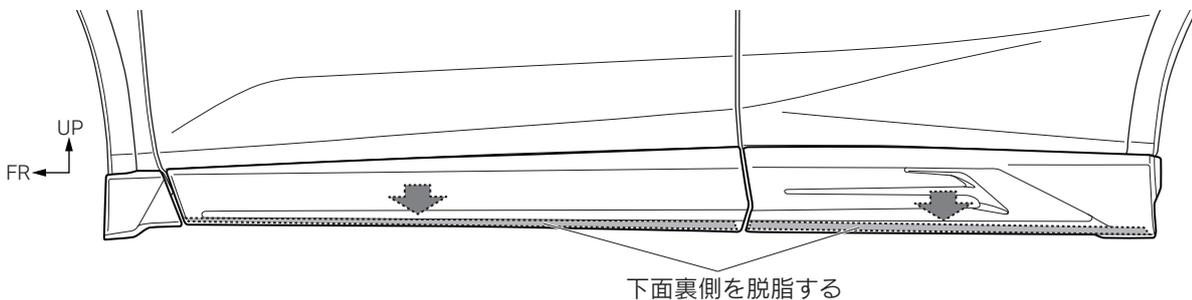


△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

13. FR インナーピース⑦⑧ A S S Y、RR インナーピース⑨⑩ A S S Y を車両ドア内側に車両ロッカーモールを取外した逆の手順で取付ける。

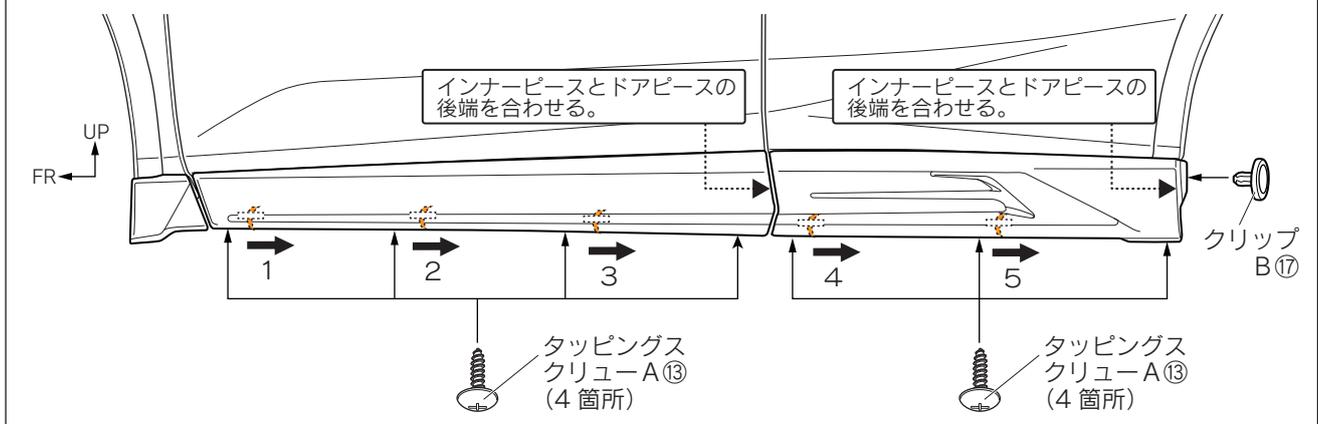
14. 図 34 のように FR ドアピース③④、RR ドアピース⑤⑥ 下裏側下面の FR インナーピース⑦⑧、RR インナーピース⑨⑩ の両面テープ貼付け部を IPA 又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

図 34 ※ LH 図示 左右共通作業



15. 図 35 のように FR ドアピース③④、RR ドアピース⑤⑥下面をタッピングスクリュー A⑬ (FR : 左右各 4 箇所、RR : 左右各 3 箇所) で仮締めし、リヤ側後端をクリップ B⑰で固定する。  
各部の位置、隙を確認して内側から両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け  
圧着し、タッピングスクリュー A⑬を本締めする。

図 35 ※ L H 図示 左右共通作業



**アドバイス** 両面テープの接着力は安定するまで 3~5 時間程度必要です。  
製品の取付け後は、最低 3 時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、  
掛からないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。

**警告** 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。  
両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

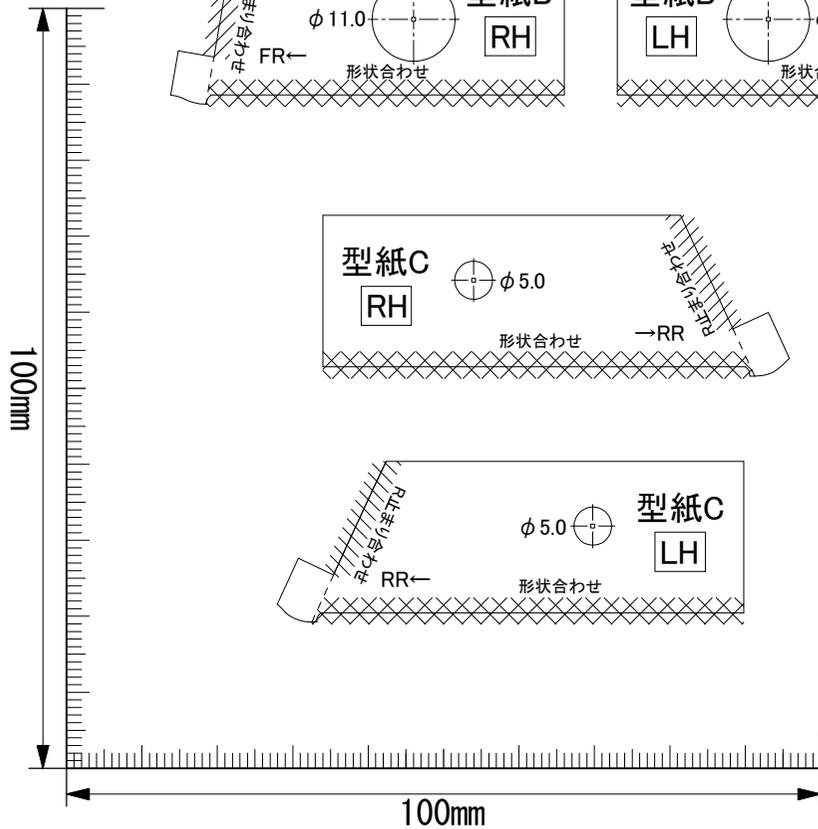
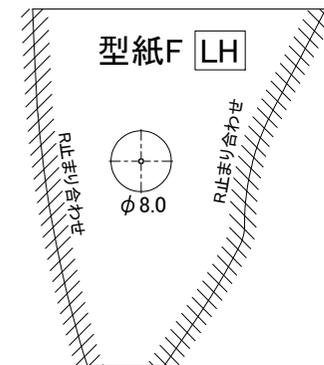
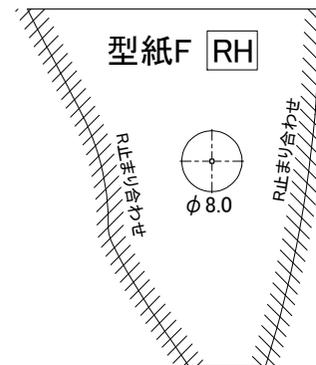
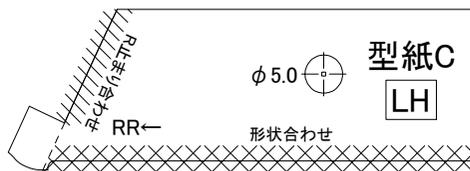
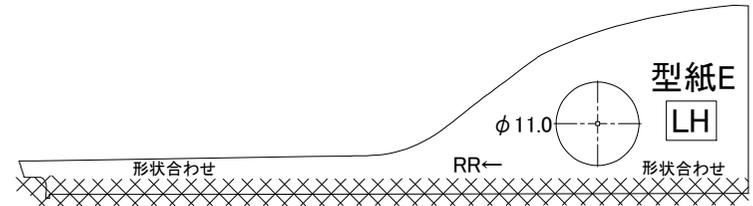
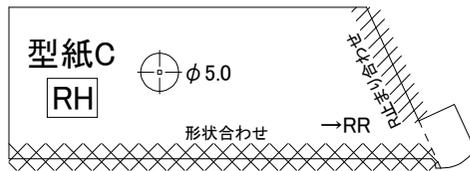
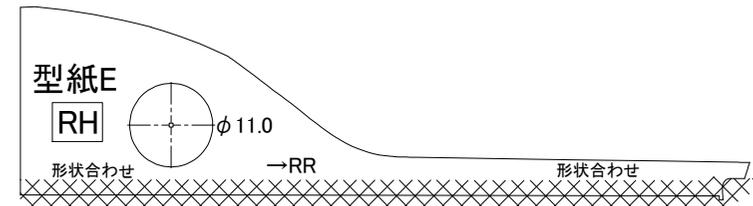
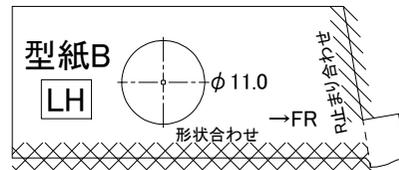
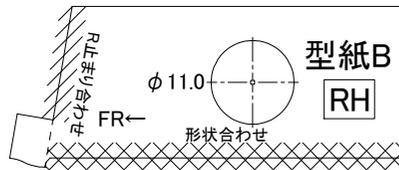
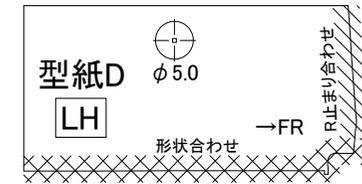
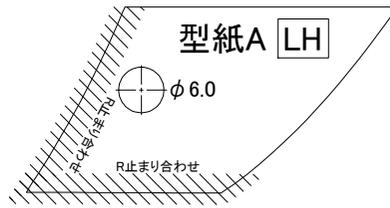
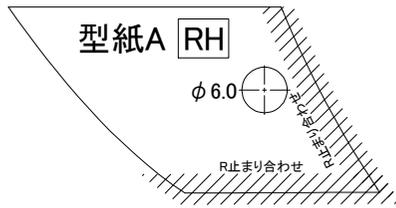
16. ドア開閉時に車両サイドスポイラーが干渉しないことを確認する。

#### ■取付完了後の点検・注意事項

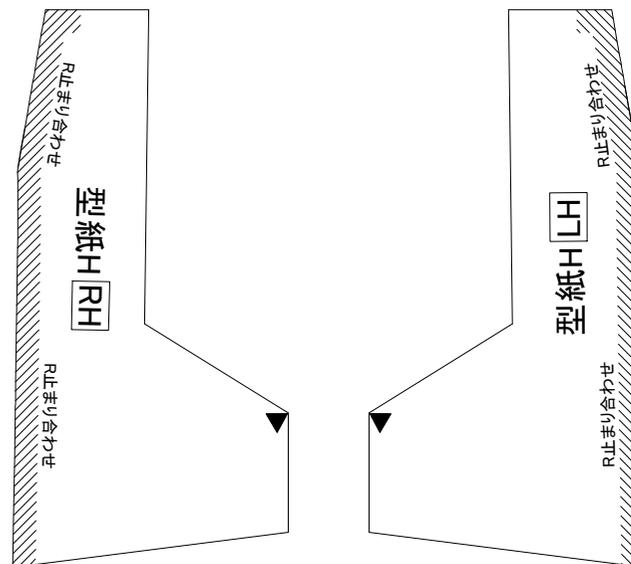
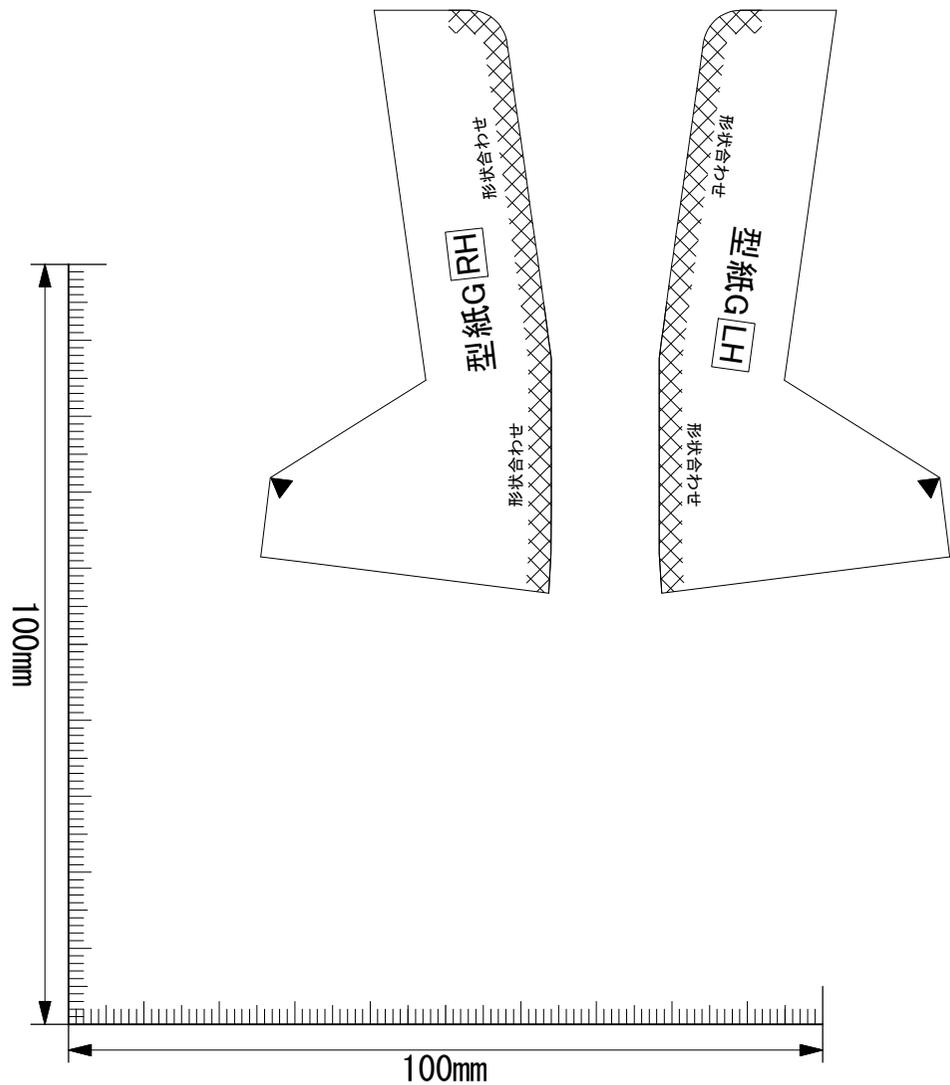
1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。  
該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント  
TRD 商品問い合わせ窓口  
TEL:050-3161-2121  
<https://www.trdparts.jp>

# MS344-48007/8/9-A00



# MS344-48008-NP-B00



※この型紙は未塗装品のみを使用し  
塗装済み品には使用しません。